



グリップヒーター HG/SP 取り付けについて

適合車種：TRICITY（SE82J）、NMAX（SEL1J）

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

●接続する前に（重要）

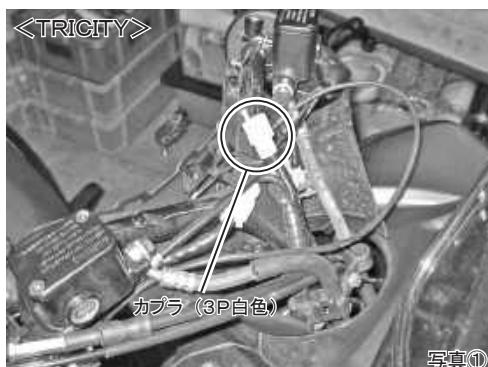
セット内容に不備が無いかを確認してください。
また、本説明書に記載の無い各部のボルト、ナットの取り外し方については車両のサービスマニュアルを参考してください。

《取り付けについて》

①配線の接続について（図①）

それぞれ、車両のサービスマニュアルを参考にして、ハンドルカバーを取り外して、TRICITYの場合は写真①、NMAXの場合は写真②を見て、アクセサリーカプラ（3P白）を確認しておきます。付属の電源ハーネスをこのカプラに接続して、グリップヒーター側ハーネスのギボシと電源ハーネスのギボシをそれぞれ接続します。

このとき、左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。
問題無ければ、一度、グリップとスイッチは外します。



●構成部品●

- ・電源ハーネス・・・1本
- ・専用スロットルパイプ・・・1個
- ・メーターステー（HGのみ）・・・1個

②純正グリップの取り外し

左側の純正グリップおよび純正スロットルパイプを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着しているボンドをパーツクリーナーなどできれいに取り除きます。

③スイッチ部の取り付け（SPのみ）

グリップヒーターをハンドルに取り付ける前に、リングタイプスイッチをハンドルパイプの左側グリップ部に差し込んで、下側からグリップヒーター本体に付属のイモネジで固定します。
→このとき、車両の操作の邪魔にならない位置に固定してください。

④左右グリップの取り付け（参考例）

<SPの場合>

グリップヒーター本体の説明書を参考に、スロットル側は必要に応じてスペーサーを先に入れてからグリップヒーターを取り付けしてください。（スペーサーが必要ない場合もあります）

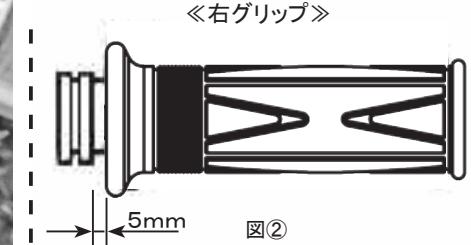
<以下、HG、SP共通>

図①を参考にして、本取り付けキットを使用してグリップヒーターを接続した後、スイッチをONにしてグリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。
また、右グリップはサービスマニュアルを参考に純正を取り外して付属のスロットルパイプに交換して、図②のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。
このとき、写真③のようにハンドル端面よりグリップ端が出てないようにしてください。

※このとき、スロットル操作に問題無いか確認して、スロットル全開状態から、手を離して確実に全閉に戻ることを確認してください。



《右グリップ》



図②

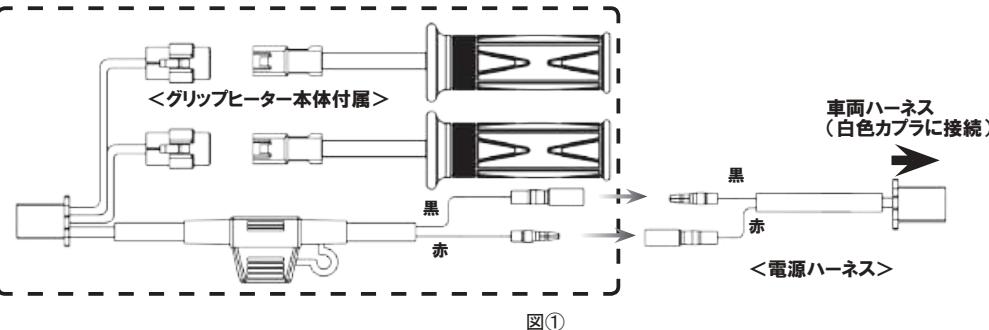
▲ 注意 左右のグリップ共にグリップから出ている配線の位置を確認してから取り付けしてください。また、右側はスロットルを回した時に配線には絶対負荷がかからないようにしてください。グリップから配線が出ている部分は弱く、断線して破損してしまう恐れがあります。

●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に**1分以上**は暖めないでください。（特に右側）。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離した状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。



⑤配線のまとめ

それぞれの取り付けが終わったら、右グリップの配線はスロットルケーブルに沿うように左グリップとスイッチの配線はリアブレーキレバーの下側を通してハーネスのカプラーに接続します。

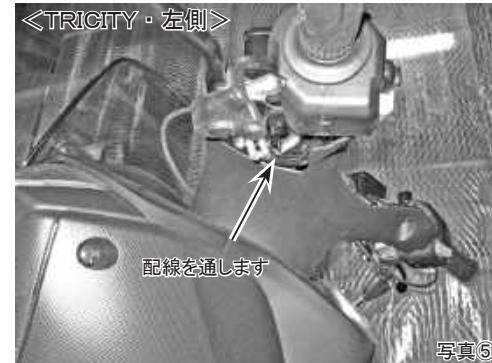
(写真④、⑤、⑥、⑦)

→左側グリップの配線とメーターの配線はあらかじめカウルの穴が空いている部分を通してから、ハーネスのカプラーに接続します。(写真⑤)

また、配線の長さが余ってしまっている部分はタイラップなどでまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かしてハーネスに力がかかっていないか、ハンドル操作、レバーの操作の邪魔になっていないか、スロットル操作の邪魔になっていないかどうか確認します。

確認が終わったら、配線をある程度まとめてからハンドルカバーを元に戻します。(写真⑧)



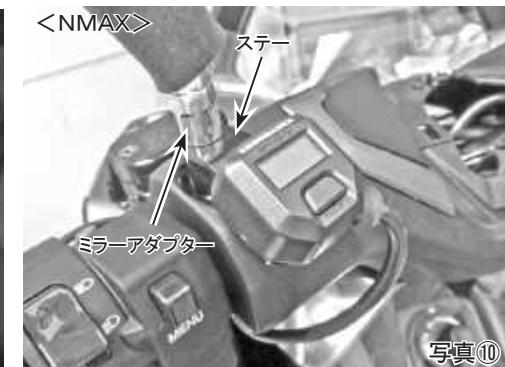
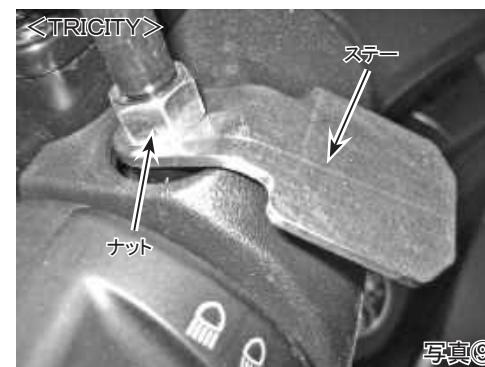
⑥スイッチ部の取り付け (HGのみ)

付属しているステーをミラーマウント部に固定します。

TRICITYは(写真⑨、⑩)

→このとき、ボタン操作の邪魔にならない位置にクランプしてください。

その後、両面テープで制御スイッチを固定します。



⑦取り付け完了

動作確認をして問題なく温まったら、取り外した部品などを元に戻して取り付け完了です。

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上のイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
.endurance-parts.com

2025.08.12